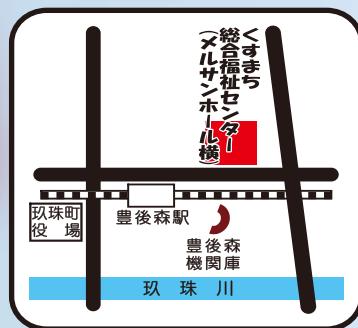


め る へ ん

社協発



発行 社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会 TEL72-5513 FAX72-2816
大分県玖珠郡玖珠町大字岩室24番地の1 (くすまち総合福祉センター内)

地域福祉へのご協力ありがとうございます



2月24日（日）くすまちマルサンホールで『わ
れら現役大会』が開催されました。その中で福祉
関係表彰が行われ、次の方々が受賞されました。
また、健康ウォーキングイベントで藤原秀夫さん
が町より表彰を受けられました。

社会福祉関係者表彰状・感謝状受賞者

【表彰状】

○明るい高年者

・安部 薫（新町）

・石井 知行（田の口）

・湯浅 寛（市の村）

・松本 廣美（中の原）

・佐藤 健次郎（小麦川野）

・古後神楽社

○福祉事業協力者

・工藤 忍生（谷）

・佐藤 靖次郎（草の入江）

【感謝状】

○福祉事業協力者

・和田 育男（帆足本村1）

・後藤 靖子（昭和町七）

・石井 壽満（草の入江）

・帆足 博充（太田本村）

・長尾 克己（倉ヶ峰）

・松田 文夫（大阪府）

（敬称略）

■□■□ 開催！われら現役大会 □■□■

～人生100年時代 共に生きる喜び～をテーマに2月24日、われら現役大会が開催されました。町民ホールでは、福祉関係表彰や健康ウォークイベント表彰の後、八幡地区愛育健康づくり推進協議会による健康劇「みんなでさかししようえ！」の上演があこなわれました。2名の体験発表、さらには谷本道哉准教授による「健康寿命を延ばすカラダづくり」と題した講演が行われました。

1階のロビーでは、玖珠町老人クラブ連合会主催のシルバー作品展も開催され、書道や工芸、手芸品など200点近くの会員の皆さんのが力作が並びました。



(森地区笑美の会)

また、町内で立ち上がった週1回体操教室19ヶ所を紹介するパネル展示もありました。

その他、オレンジカフェや障がい者就労事業所の物品販売も行われました。



さあ、皆さんに笑顔と元気をおすそ分けします。フランダンスと一緒にしている方が
いました。元気の秘訣は、「よく食べる」と話されていました。元気と笑顔で答えてくださいました。
これからも、益々のご活躍をお祈りします。



さあ、参加し、皆さんと賑やかな時間を楽しんでいます。2年前までは健美体操に
も参加されていたとのことでした。



今回のキラッとさん☆

今回は97歳の現役フラダンサー、溝口初子さんです。82歳から始めたフラダンスも今年で15年目、先日の公民館まつりのステージでも仲間の皆さんと一緒に楽しく踊られています。月2回の練習も欠かさず参加し、皆さんと賑やかな時間を楽しんでいます。2年前までは健美体操に

共生社会を考える講演会 ～生活困窮者自立支援事業～

（日）メルサンホールで共生社会を考える講演会を2つ の地域団体の発表と、I-HOE 代表者の川北秀人さんをお招きして行いました。

県内外から100名を超える方の参加がありました。

第1部では、玖珠町のまちづくり推進課から課の業務内容、取り組みの説明がありました。

次に、九重町東飯田地区の「つなぐProject」、玖珠町八幡地区の「さかしい会」から、この活動に至った経緯や現状、課題についての活動報告が行われました。それに対して参加者から質問、提案等もあり、川北さんからそれアドバイスをいただきました。

第2部の講演会では、玖珠町の現状、高齢化率は全国平均の30年先を走っていること、今、何らかの対策を始めいかなくては2020年には、75歳以上



の高齢者が町の人口の5人に1人を占めること等数字を見ながらの講義でした。『これからは、何をやりたいかではなく、何をしなくてはならないのか、その優先順位を決めていかなくてはこれまでのことは通用しなくなれる。これまでの組織の機能、仕組、取り組みを現状に合わせて早急に組み直していくかなくてはならない』という話に、これらも住み続けられる地域であるには、スピード感をもって対応しなくてはという危機感と、自分ができることを何かしたいといふ思いを会場の参加者が共にする時間となりました。

生活支援コーディネーター伝言板

意見交換会では、集落支援員はどんな仕事をするのか、どんな人が支援員になれるのか、組織を始めるにはどのように進めて行けばいいのか等の質問が出ていました。地域の助け合い活動をしたくても、リーダーの不在や若い人がいない等の意見がでていました。また講演会を開催しても、その時だけで意味がないのではないかとのご意見もいた

かけて、4地区コムニティ圏域で、地域の助け合い、地域づくりのための講演会が開催されました。講師に日田市中津江のNPOつえ絆くらぶ理事、河井昌猛氏をお招きして、『よそ者目線で地域づくり』をテーマに大阪から地域おこし協力隊で移住し、集落支援員を経験する中で、地域の高齢者の生活の困りごとなどの現状に接し、地域の助け合い組織を始めたことについて、講演していただきました。



来年度は実際に生活の支え合いや集まる場所づくりが出来ないかを、住民の皆さんと一緒に検討していく予定です。

平成30年度 玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会 第2回研修会

兵庫県からNPO法人さくらネット代表の石井布紀子さんを講師に迎え、郡内の災ボランティアネットワークの会員、郡内の福祉避難所受託施設、県内の社協職員に呼びかけをして、雪の中70名の参加があり、「災害ボランティアセンター」（以下、災ボラセンター）」「福祉避難所」「避難所」を想定した訓練を行いました。昨年は、「災ボラセンター」を体験し、その機能を知るという内容でしたが、今年は更に一步進めて、災ボラセンターや避難所で想定される出来事にどのように対応するかを考え、皆で意見を出し合いました。施設の職員には、どのように福祉避難所を運営していくのか、設計するの方を考えもらいました。また、避難所にあるものでマスクや、お菓子を作る体験をしたり、実際に床に寝てみて、どのようにすれば少しでも過ごしやすくなるかと一緒に考えました。

去年に引き続き参加された方、今年初めての方、防災士や建設協会の方など様々な方の参加をいただき、皆さん与え

1月26日（土）、玖珠郡災害ボランティアネットワーク協議会（以下、郡災ボランティアネットワーク）主催の第2回研修会が行われました。



られたお題を時間いっぱい真剣に検討していました。

参加者からは「やっぱり口頭から訓練が必要だね」との感想も聞かれました。実際の災害現場では、皆の意見をとりまとめる力と、決断力が常に求められます。皆さんに口頭から発災イメージを持つていただきことの積み重ねが減災の力となります。来年度も引き続き訓練を続けていきますのでご協力の程、宜しくお願いいたします。



2月26日

（火）会員
が生きがい
と健康づく
りに意欲的
に活動する

ことを目的に、玖珠町老連女性部が玖珠自治会館で研修会を行いました。今回は女性部会員が多数参加できるよう、笑いヨガインストラクターの甲斐恭子さんをお迎えして、簡単に健康づくり・介護予防にもなる笑いヨガ教室を開催しました。70名の参加会員が1時間しつかり笑いました。



笑いヨガは、認知症予防や症状緩和にも効果があると言われています。皆さん心も身体もスッキリして笑顔で会話を終了しました。

介護保険のお話

14



今回の介護のお話しでは、グループホームについて紹介します。

グループホームとは、認知症の高齢者に重点を置いた小規模の介護施設で、住み慣れた地域で暮らし続けられる地域密着型サービスの1つです。（要支援2以上の認知症高齢者に対象です。）

事業所名	特定非営利活動法人 グループホーム なごみ	グループホーム 笑みの里
事業所住所	玖珠町山田2734番地	玖珠町大字大隈326-2
事業所の説明 (どういった事を行っているのか)	介護保険の認定の結果が、要支援2から要介護5までの方で、主治医から認知症と診断された方が入所できます。入居者9名と職員で共同生活を行い、「ゆっくり、一緒に、楽しく」をモットーにより添う介護を行っています。	グループホームは、病気や障害によって一般的な生活が困難になった方が、専門スタッフが見守る中で精神的な安定や、生活リハビリテーションを目的として認知症と診断された方が入居する施設です。皆様のできる事に応じて、料理や掃除を分担し、やりがいや役割を持ちながら、少しでも自宅のような生活を続けられるような雰囲気で生活していきます。

てください。
これからも楽しみな
がら、続けて
ください。
うです。



最初は週1回集まるることは大変だと感じていたのですが、始めて2か月が過ぎ、週1回会えることをとても楽しにしているようです。めじろん体操・テレビ体操・ストレッチ・歩き方講座等の後、脳活性や笑いのためには、オセロゲーム・花札・ダーツ等を併せて、2時間行っているそうです。会員の中に大工仕事の出来る方がいて、こだわりのテレビ台や、折りたたみ椅子の収納台を作成してくれたそ



今回ご紹介するのは田の口サロンです。老人クラブの会員で活動しています。これまで、月1回のサロン活動を行っていましたが、町が推進している介護予防活動の週1体操教室開催の説明を聞いて、週1体操を毎週月曜日に行うことになりました。開催にあたり、内容を検討して、大分県老人クラブ連合会の健康づくり応援事業費を活用して、DVDやオセロゲーム・花札等を購入しました。

田の口サロンの通信

くらしと仕事の相談室



仕事のこと、家計のこと、家族のこと…
いろいろな不安なことが重なって、どこに
(誰に)相談すればいいんだろう?

相談無料

秘密厳守

生活に困ってしまうことは、誰でもあります。

1人で悩まず、問題が深刻化・複雑化する前に早めのご相談を!

【対象となる方】 ●玖珠町内に在住している方 ●生活保護を受給していない方

- ・失業などにより、所得が減少し、経済的にお困りの方
- ・ご自身の病気やケガ、家族の問題などで、経済的なお悩みを抱えている方
- ・仕事をさがしているがなかなか見つからない方
- ・人とのコミュニケーションが苦手、子どもが不登校

など

◎まずは相談



あなたの悩みをうかがいます。相談内容によっては、利用可能な
サービス等を紹介し、利用手続きのお手伝いをします。



あなたが抱えている問題を分析し、あなたの意見をうかがいながら
問題がひとつずつ解決するように支援を行います。

相談受付時間 月曜日から金曜日 午前8:30～午後5:30

お問合せ先：玖珠町社会福祉協議会 自立支援相談窓口 ☎ 72-5001
E-mail seikatsukonkyu@kusushakyo.or.jp (要予約)

平成31年度 無料法律相談・障害年金相談日程

法律相談

土地、相続、金銭等法律に関するお悩みについて、無料で弁護士に相談できます。
偶数月第3水曜日午後1時30分から4時30分（1人30分程度）
電話での事前予約制です。

4月17日・6月19日・8月21日

10月16日・12月18日

2020年2月19日

○対応：大分県弁護士会 一木俊廣弁護士

【予約連絡先】

玖珠町ふれあい総合相談センター
TEL 72-5001

障害年金相談

障害年金は、病気やケガが原因で精神や身体に障がいをお持ちの方で、仕事や日常生活で支障のある方に年金や一時金を支給する制度です。

奇数月最終火曜日、午後1時30分から4時まで、事前予約が必要です。

5月28日・7月30日・9月24日

11月26日・2020年1月28日

3月24日

○相談員：年金アドバイザー 島津 正一氏

【予約連絡先】

玖珠町ふれあい総合相談センター
TEL 72-5001

社会福祉協議会へ



(平成30年12月24日
～平成31年2月23日)

香典返し

花 香 梅木 好美 様

中通り 武石 賢一 様

戸 門 上 河野 和義 様

山 中 下 梅木 幸信 様

下 の 園 梅木 逸美 様

志 津 里 講山 忠彦 様

戸 畑 瀧石 玲子 様

草 の 入 江 岩田 和義 様

金 栗 院 原 明徳 様

3件 佐 伯 市 米 水 津 東 町 上 金 碇 金 浩 子 森 山 年 子 様 様 様 様 様 様 様

あそびにおいでよ おもちゃ図書館へ

◇開館情報◇

開館日：毎週土曜日

開館時間：10:00～16:00

開館場所：玖珠町老人福祉センター
(メルサンホール横)

玖珠町大字岩室24-1 TEL/72-5513



寄付金

春 日 町 (株)玖珠温泉望山荘 様

2件

ご本人ご家族の了承を得て掲載しています



もう随分と昔のことですが、わが家の子育て中は経済的なゆとりがありませんでした。家族のレジャーといえば、普段の食事を鍋や炊飯器ごと持つて郊外の森や山に行き、景色を眺めて楽しんでいました。

夜は星や森の生き物を見るのも楽しかったです。ムササビの飛ぶのをはじめて見たのもその頃のことでした。

先日、「山の中の一軒家」という番組で私の体験に似ていて、もっと凄い家族の物語がありました。

夫婦と子ども5人の7人家族でしたが、その家のお父さんは、建設業関係の仕事をしていて、田舎の山の中に住みたいと思っていました。

でも、教育費にお金がかかっていたので、土地を買ってもすぐに家を建てることができませんでした。

土台や骨組みを作るのに、廃材を集めたり、安い資材を調達しながら少しずつ建てていったそうです。

番組では、最後の「駐車場」を作るシーンでしたが、そこに行き着くまでにはずいぶん長い期間が必要だったようで、その間の家族の休みの日の「レジャー」は建設中の家を少しずつ作っていくことでした。

早くから片隅に泊まれる部屋を作り、風呂とトイレも早めに仕上げてキャンプ気分で楽しんだそうです。

印象的だったのは、「一番貧乏だったあの頃が一番楽しく幸せだった」という言葉でした。

一期一会

「家族のレジャー」

社会福祉法人 玖珠町社会福祉協議会

会長 石井由久雄

4月・5月のスケジュール

日	月	火	水	木	金	土
31	4 /1 ■老人福祉センター休館日	2 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	3 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	4 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	5 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター) ■給食サービス	6 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
7	8 ■老人福祉センター休館日	9 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	10 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	11 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	12 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	13 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
14	15 ■老人福祉センター休館日 ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	17 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター) ■法律相談会(要予約)(ともに老人福祉センター)	18 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	19 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	20 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
21	22 ■老人福祉センター休館日	23 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター)	24 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	25 ■ふれあい福祉バス(小野原線) ■給食サービス	26 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	27 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
28	29(昭和の日) ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	30(退位の礼) ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	5 /1(即位の礼) ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線)	2(祝日) ■ふれあい福祉バス(小野原線)	3(憲法記念日) ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線)	4(みどりの日) ■おもちゃ図書館(福祉センター)
5(こどもの日)	6(振替休日)	7 ■老人福祉センター休館日 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	8 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	9 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	10 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	11 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
12	13 ■老人福祉センター休館日	14 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	15 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター) ■給食サービス	16 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	17 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	18 ■おもちゃ図書館(福祉センター)
19	20 ■老人福祉センター休館日	21 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線)	22 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	23 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	24 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	25 ■おもちゃ図書館(福祉センター) ■給食サービス
26	27 ■老人福祉センター休館日	28 ■ふれあい福祉バス(大野原線・伐株線・山浦線) ■男性ふれあい広場(老人福祉センター) ■障害年金無料相談会	29 ■ふれあい福祉バス(鳥屋線・日出生線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	30 ■ふれあい福祉バス(小野原線)	31 ■ふれあい福祉バス(鏡山線・小田線・山浦線) ■いきいき元気教室(老人福祉センター)	6 /1 ■おもちゃ図書館(福祉センター)



(E) いじ、思いたいです。 じやせん達とのつながりは無くなつたわけではな
んの春は向處まで来てい
ますか。 4月には、星翔中学校
が開校です。各地区の中
学校が無くなるのは、と
ても淋しいのですが、子
どもたちのつながら
ります。

今年の冬は積雪が一度
だけで、春が例年より早
くやつてきました。気が
します。三寒四温を乗り
越えて、温かくなるので
しようが、玖珠弁で「ぬ
くかつたら」とか「こ
らさみ」を繰り返して
春はもう来ています。
庭の梅の花も開花が早
く、咲き終わってしまいます。
ました、ふもとのどうが芽
を出しています。私の春
はこれから、決算という
厳しい冬を乗り越えない
じやつときません。皆さん
の春は向處まで来てい
ます。

編集後記
